

小学校第6学年

国語

注意

- 1 先生の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 調査問題は、1ページから23ページまであります。問題用紙のあいている場所は、下書きや計算などに使用してもかまいません。
- 3 解答用紙は、両面に解答らんがあります。解答は、全て解答用紙に書きましょう。
- 4 解答は、HB以上のこさの黒えんぴつ（シャープペンシルも可、ボールペンは不可）を使い、こく、はっきりと書きましょう。また、消すときは消しゴムできれいに消しましょう。
- 5 解答時間は、45分間です。解答が早く終わったら、よく見直しましょう。
- 6 机つくえの上の「個人番号シール票」をよく見て、解答用紙に、組、出席番号、男女、個人番号をまちがいのないように書き、個人番号シールを1枚まいはりましょう。
- 7 問題用紙の最後に、この調査問題について質問があります。解答時間終了後、先生の指示で回答しましょう。

調査問題は、次のページから始まります。

岡さんの学級では、地域の^{ちいき}のためにできることについて話し合うことにしました。岡さんのグループでは、学校の近くにある公園をきれいにすることについて話し合っています。次は、そのときの【話し合いの様子の一部】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一部】

岡さん

学校の近くの公園は、広くて遊具があり、一年生のころから遊んでいる場所です。私は、今まで使ってきた公園を自分たちできれいにすることで、もっとたくさんの人に気持ちよく使ってもらえるようにしたいです。私自身、どうすればよいか考えているところですが、みなさんはどんなアイデアがありますか。

谷原さん

私は、公園に行くと、おかしなふくろやペットボトルがいつも落ちていることが気になります。そこで、ごみを拾うきかいがあるとよいと思います。ア「きかい」というのは、ロボットのことでなく、活動する時間のことです。

山下さん

公園のごみを拾うことは、すぐにできるのでよいと思います。でも、続けることは難しい気がします。私は、この公園には花が少ないので、許可をもらって、もっとたくさんのお花を植えれば、はなやかな感じになると思います。

谷原さん

イ確かに、山下さんの言うとおり、花を植えることは私たちにもできるし、はなやかになり、よいと思います。ただ、こまめに公園へ行って花の水やりなどの世話を続けることも難しそうですね。

山下さん

その点については、もう少し考えていきたいと思っています。

前田さん

私は、公園の遊具のペンキをぬり直したいと思っています。

中村さん

ウ どうして、公園の遊具のペンキをぬり直すことが必要なのですか。

前田さん

公園のすべり台やジャングルジムは、できてから時間がたっていて、どれも暗い感じがします。そこで、自分たちだけでできるかどうかは気になりますが、明るい感じにするために赤色や黄色のペンキで、ぜひぬり直したいと思っています。

中村さん

なるほど、いいアイデアですね。ペンキをぬり直して明るくすると、公園がきれいになるということですね。

岡さん

こうして、みなさんの話を聞いてみると、どれも公園をきれいにするためのアイデアですね。

中村さん

今までの話し合いで出たアイデアについて、よい点と問題点に分けて〈メモ〉をしてみました。

私は、公園が明るくなるので、ペンキをぬり直すことがよいと考えました。できるかどうかは分からないという問題点については、公園を管理している人や家の人に相談するとよいと思います。

岡さん

みなさんのアイデアや〈メモ〉から、取り組みやすいという理由で、私は、

〽 (話し合いが続く) 〽

〈メモ〉

アイデア	よい点	問題点
ごみ拾い	○ごみがなくなる	△続けることがむずかしい
花植え	○はなやかになる	△世話を続けることがむずかしい
ペンキぬり	○明るくなる	△できるかどうかは分からない

一 【話し合いの様子の一部】で、谷原さんが、——部アのように発言した理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 意味を説明することで、同じ音でも複数の漢字があることを知ってもらうため。

2 意味を説明することで、同じ音で異なる意味をもつ言葉と区別するため。

3 くり返し伝えることで、相手の考えを引き出すため。

4 くり返し伝えることで、言葉のリズムをよくするため。

二 【話し合いの様子の一部】で、谷原さんや中村さんが、——部イや——部エのように発言した理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 友達の意見に質問し、みんなの意見を一つにまとめるため。

2 友達の意見に質問し、認め合いながら話を進めるため。

3 友達の意見のよさを伝え、みんなの意見を一つにまとめるため。

4 友達の意見のよさを伝え、認め合いながら話を進めるため。

三 【話し合いの様子の一部】で、中村さんが前田さんの発言に対して、——部ウのように質問し、知りたかったことはどのようなことですか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 ペンキをぬり直すことが、公園の遊具で遊べることにつながる理由
- 2 ペンキをぬり直すことが、自分たちではできないことにつながる理由
- 3 ペンキをぬり直すことが、公園をきれいにすることにつながる理由
- 4 ペンキをぬり直すことが、ごみのない公園になることにつながる理由

調査問題は、次のページに続きます。

2

森田さんの学級では、不思議な出来事が描かれている物語を読み、友達とせいせんし合うことにしました。森田さんは、「銀色の幻想」という題名の物語を選んで読み、気になるところにふせんをはっています。次は、「物語のこれまでのあらすじ」と【物語の一部】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。



森田さん

【物語のこれまでのあらすじ】

学校の帰りに、自分と同じ名前のH I R O K I 模型店を見つけたぼく。一步その店の入口に近づくと、ドアが音もなく開き、カウンターのすみに座っている老人が、やけになれなれしく「よお。」と手をあげた。店の中は、宇宙船などの模型で占められていた。

「ここ、宇宙ものの専門店なの？」

ときくと、老人は、

「まあ、そうだ。わしは、他のものには興味がないもんでな。」

「へえ、ぼくもそう。」

ぼくは、うれしくなって、ランドセルを床におき、模型に手をのばした。

「展示品にさわってもいい？」

「もちろん。」

縁なし眼鏡の奥で老人は、目を細めた。

「いま、きみが手にしたやつなんて、なかなかの出来だろう。基本的なデザインはわしが考えたんじゃないよ。」

それは、全長七十センチ、直径三十センチほどの卵型の宇宙船の模型で、船首の円錐も、船尾の七つの尾翼も、船体の真ん中につけた大きめの窓も、ア先週、図工の時間に、ぼくが描いた宇宙船の絵にそっくりだった。

つい夢中になって、

「これ、もしかしたら二人乗り？」

「そうだよ。」と、老人はこともなげに言った。

「でさ、操縦室のほかに、キャabinはひとつ、お風呂とトイレとキッチンがついている？」

「さよう。」

「二年分の食料がつめる貯蔵庫は？」

「あるよ。」

老人は得意そうにうなずいた。

「すごいや。」

ぼくは、中の様子を見ようと、模型の窓をのぞきこんだ。紺色のシールドがかけられていて、はつきりとはしなかったけれど、ソファやテーブルが見えた。

「いいなあ。こんなのでほんとうに飛べたらなあ。」

「この宇宙船は、星と星を旅したり、過去と未来をいったりきたりすることができんだよ。」

と、老人は言う。

ぼくはうっとりしてしまった。

一億年前の恐竜にも会ってみたいし、一千年後の未来都市も見たい。それがぼくの夢だった。

「時間の壁を越えさえすればいいんだよ。」

と、老人は言った。

「ただ、時間の壁を破るには、ものすごいスピードが必要なじゃ。超光速といってな、光よりも速くとはなければならぬ。」

「じゃあそういう装置を發明すればいいの？ ようし、いつかぼくが作ろうっと。」

① ぼくは、模型の宇宙船をだきしめた。

「ねえ、おじいちゃん、この模型はいくらぐらいするの？」

これだけ精密なものだったら、ずいぶん高いにちがいない。船体も大きいわりには、軽くてふつうのプラスチック製だとは思えなかった。貯金をはたいても買えるかどうか……。

「大学の研究室で作ったからなあ……」

と、老人はつぶやいて、電卓をはじいた。ぼくは、電卓の緑色の液晶表示板をのぞきこんだ。

息がとまりそうだった。オレンジ色の数字は、あんまりに天文学的だったから。「ぼくには、ぜんぜん手がでないや。」

と、うなだれていると、老人は、ぼくの肩をたたいて、

「模型よりも、本物を見たくないかい？」

「ほんもの？」

「裏のガレージにある。」

ぼくは気が動転してしまった。

「ほんものって？」

「まあ、ついておいで。」

ウ 老人は、ロボットに店番を頼むと、よっこらしよっと立ちあがり、裏口を開けて、ぼくを手招きした。

店の裏は野原になっていて、いちめんのススキの海の中にビニールのドーム型ガレージがあった。

老人は、ススキの穂をかきわけて進んだ。

かすかに秋の花の匂いがした。

ガレージはずいぶんと大きなもので、老人がパチッと指を二回鳴らすと、ドームの屋根が左右にゆっくりと開いていった。

卵の形をした銀色の船体が横たわっている。ゆるやかな曲線が、午後の日差しをはんしゃしてまばゆく輝いた。

パチッと老人の指がもう一度、鳴った。

すると、船体からタラップがおりてきて、ドアがあいた。

工 ぼくは、老人のあとから宇宙船に足を踏み入れた。

通路をはさんでキャビンとコックピットに分かれている。

「これもおじいちゃんが作ったの。」

ぼくの声は、少し震えていた。

老人はにっこりした。

コックピットは、とてもシンプルだった。リクライニング式の操縦席の前面のパネルには、コンピュータが埋めこまれて、ぶーんと小さな振動音をたてていた。

キャビンは銀色で統一されたシックな空間で、六畳ほど。ベッドをかねたソファがふたつ壁ぎわに置かれ、真ん中に楕円形のテーブルがある。

そして廊下側の壁には、一枚の老人のポートレートが飾ってあった。

写真の老人は、きちんとしたタキシードを着てすましかえっていたけれど、まさしくぼくの隣にいる老人だった。

「これは、わしが、超光速推進（スペーススワープ）装置の発明によって、賞をもらったときの写真なんだ。授賞式が六十九歳の誕生日と重なったりしたもんだから、記念に撮ってもらったんだよ。」

「へえ、おじいちゃんは有名人なんだね。」

ぼくは言って、ポートレートの額縁に刻まれた文字を見て、どきっとした。

〔ヒロキ・タチバナ教授・科学アカデミー賞受賞記念〕と、あったのだ。

「ぼくと同じ名前だ。」

オ 同姓同名か……。そんなことは世間ではいくらでもあるが、やはり、ぼくは老人にさらに親近感を深めて、笑いかけた。

宇宙船の外に出ると、老人は言った。

「このワンダーボール一号、気にいったかね？ この船を見せたかったんだよ。」
ワンダーボール一号。

それは、ぼくが図工の時間に描いた宇宙船、未来から過去へ、過去から未来へ、時間の壁を越えて自由に飛翔するあの宇宙船に、ひそかに付けた名前だ。② だれにも、教えたことがなかったのに。

ぼくはきゆうに不安を感じて、立ちどまった。

③ (ひよっとしたら、老人は六十年未来からやってきたぼく?)

そのとき、老人が、うしろで、

「じゃあな。」

とつぶやいたようだった。

ふりかえると、老人も、宇宙船も模型屋もあとかたもなく消えていた。
ただ、透明な空の青さのなかで、スキの穂波が銀色に光り、風にそよいでいるだけだった。

(那須田淳「銀色の幻想」による。)

一 森田さんは、ふせんをはったところをもう一度読んでいます。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 森田さんは、……………部①に表れている「ぼく」の気持ちについて考えています。「ぼく」の気持ちの説明として適切なものを、次の1から5までの中から二つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 模型の宇宙船が手に入らない悲しさ
- 2 本物の宇宙船を手に入れた喜び
- 3 本物の宇宙船を作ることへのあこがれ
- 4 本物の宇宙船を作ることへの不安
- 5 模型の宇宙船を見た感動

(2) 森田さんは、……………部②と③から、「老人」は未来の「ぼく」であると考え、他にもそのことが分かるところを探^{さが}しています。「老人」が未来の「ぼく」であると考えられるところとして適切なものを、次の1から5までの中から二つ選んで、その番号を書きましよう。

1 【物語の一部】の——部ア

2 【物語の一部】の——部イ

3 【物語の一部】の——部ウ

4 【物語の一部】の——部エ

5 【物語の一部】の——部オ

三 同じ学級の山村さんも、「銀色の幻想」を読み、すいせんする文章を書いています。次の【山村さんの文章】の **B** の中に入る内容として最も適切なものを、あとの1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【山村さんの文章】

この物語は、主人公の「ぼく」が自分と同じ名前のもけい店で「老人」と出会うことから始まる。「老人」は、未来の「ぼく」のすがたかもしれないのだが、読者にそう思わせる表現が文章全体に散りばめられている。そのため、読み進めるうちに、物語の世界にどんどん引き込まれていく。そして、最後の一文「ただ、透明な空の青さのなかで、ススキの穂波が銀色に光り、風にそよいでいるだけだった。」は、**B** 読み終わった後も物語の世界にひたることができるおすすめの商品だ。

- 1 色の表現を使い、季節が変わったことを印象づけている。
- 2 「ぼく」が体験した信じられないような出来事を印象づけている。
- 3 空と風を表す表現を使い、「ぼく」が宇宙に行った不思議さを印象づけている。
- 4 「ぼく」が過去から現在にもどってきた安心感を印象づけている。

3

島谷さんの学級では、「六年生としてがんばりたいこと」を書くことにしました。次は、島谷さんが最初に書いた【文章1】と書き直した【文章2】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【文章1】

わたしは、五年生の時、美化委員長の南さんが卒業する前に話してくれた、みんなにそうじ用具の正しい使い方を知ってほしいという思いをもち、正しく使うことができている学級の様子をろくがして、各学級にしようかいしたという活動がすばらしいと思いました。

この話を聞き、五年生の時にさいばい委員会では自分が行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをはんせいしました。

わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人もしたしむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいしたいです。

【文章2】

わたしがこの一年間でがんばりたいことは、運動委員としてみんなのことを考えた新たな活動を進めることです。

そう考えたのは、五年生の時、美化委員長の南さんが卒業する前に話してくれた、活動への思いがすばらしいと思ったからです。南さんは、みんなにそうじ用具の正しい使い方を知ってほしいという思いをもち、正しく使うことができている学級の様子をアろくがして、各学級にしようかいしたそうです。

この話を聞き、五年生の時にさいばい委員会では自分が行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをイはんせいしました。

わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人もウしたしむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいしたいです。

— 島谷さんは、【文章2】の の部分をどのようなことに気をつけて書いていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 自分の考えが明確に伝わるように、自分の考えを最初に書いている。
- 2 自分の考えが明確に伝わるように、引用することで、書き出しをくふうしている。
- 3 他の人が読みやすいように、事実と感想とを区別して、書き出しを書いている。
- 4 他の人が読みやすいように、自分の考えとその理由を最初に書いている。

二 島谷さんは、川口さんと【文章2】を読み合い、感想を伝え合いました。次の【伝え合いの様子の一部】をよく読み、あとの問いに答えましょう。

【伝え合いの様子の一部】



島谷さん 私のがんばろうとしていることが伝わるかな。

川口さん 伝わってきたよ。それは、上級生が話してくれたことや、委員会で活動したことを

もとにしているからだね。

島谷さん それはよかった。他に気づいたことはあるかな。

川口さん 最後の段落がいいね。なぜかという、最初の段落の内容をより具体的に書いて

いるから、今年がんばろうとしていることがくわしく伝わってきたよ。

島谷さん ありがとう。自分でもふり返ってみるね。次は、川口さんの文章を読んだ感想を

伝えるね。

〽（伝え合いが続く）〽

三 島谷さんは、「文章2」を読み、習っている漢字がひらがなになっていた——部ア、イ、ウを漢字に書き直すことにしました。

次の——部アを漢字でていねいに書きましょう。

南さんは、みんなにそうじ用具の正しい使い方を知ってほしいという思いをもち、正しく使うことができている学級の様子をアろくがして、各学級にしようかいしたそうです。

次の——部イを漢字でていねいに書きましょう。

そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをイはんせいしました。

次の——部ウを漢字でていねいに書きましょう。

運動が苦手な人もウしたしむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいしたいです。

四 島谷さんは、「六年生としてがんばりたいこと」を手紙で伝えたいと思い、(一)を書きました。そして、相手の読みやすさを考えて(二)のように書き直しました。島谷さんが書き直すときに気をつけた内容として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

(一)

うららかな春の日が続いています。
いかがお過ごしてしょうか。
わたしは今年、六年生としてがんばりたいことがあります。

(二)

うららかな春の日が続いています。
いかがお過ごしてしょうか。
わたしは今年、六年生としてがんばりたいことがあります。

1 とめやはねの書き方

2 文字の大きさ

3 文字と文字との間

4 行の中心

これで、国語の調査問題は終わりです。
最後に質問があります。解答時間
終了後、先生の指示で回答しましょう。

【質問】 ※解答時間終了後、先生の指示で回答しましょう。

それぞれの質問について、あてはまるものやあなたの考えに最も近いものを1つ選んで、解答用紙の □ の中の回答らんらんに、その番号（数字）を書きましょう。

(1) 今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。

- 1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した
- 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあとちゅうった
- 3 書く問題は全く解答しなかった

(2) 解答時間は十分でしたか。(45分)

- 1 時間が余った
- 2 ちょうどよかった
- 3 やや足りなかった
- 4 全く足りなかった